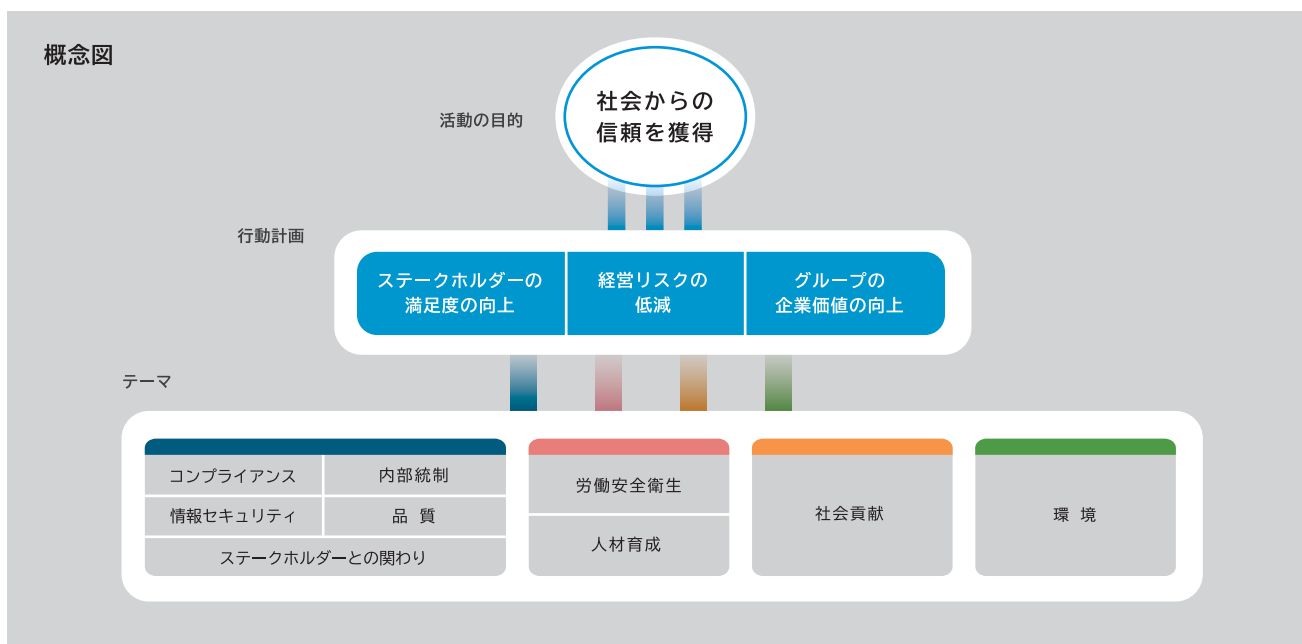


東亜グループCSR活動の基本的な考え方

経営理念に掲げる「高い技術をもって、社業の発展を図り健全な経営により社会的責任を果たす」ことが社会における当社の存在意義であるとの認識のもと、健全で継続的な社業の発展をめざしてCSR活動を推進します

東亜グループは、海上土木、陸上土木、建築の分野で、日本はもとより広く海外のニーズに応えています。そのめざすところは、CSR活動の目的としている「社会からの信頼を獲得」することです。この目的を達成するために、公正な企業活動による健全経営を追求し、高い技術により建設業者としての品質の高いサービスを提供してまいります。当社では、CSR活動を9つのテーマに分け、テーマごとに、期首に行動計画を策定し、期末に評価し、次年度の行動計画に活かしています。



企業行動規範

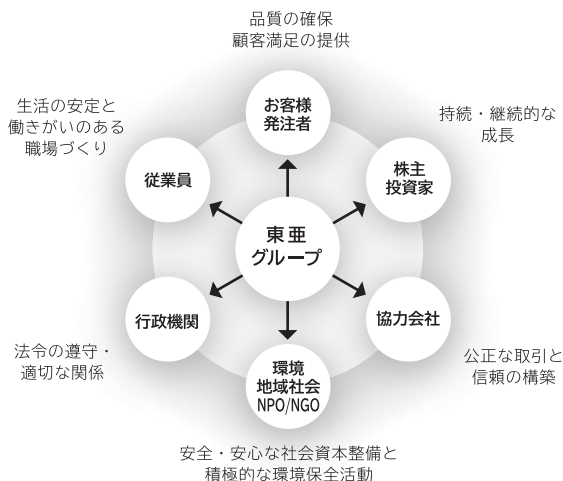
■ 東亜建設工業グループ企業行動規範

当社は、経営理念に掲げる「高い技術をもって、社業の発展を図り、健全な経営により社会的責任を果たす」ことが、社会における当社の存在意義であるとの認識のもとにCSR活動を推進し、健全で継続的な社業の発展をめざすべく、ここに「東亜建設工業グループ企業行動規範」を定め、グループ全体に周知・徹底します。(2006年6月制定)

1	優良な建設物とサービスの提供
2	法令等の遵守の徹底
3	公正な競争の推進
4	反社会的勢力との関係の遮断
5	企業情報の適正な開示と信頼の確保
6	地域社会との調和と貢献
7	環境への取り組み
8	働きやすい職場環境と豊かさの実現
9	国際社会との調和と貢献
10	率先垂範と体制整備

東亜グループのステークホルダー

東亜グループは、お客様、株主、従業員、協力会社、関係機関、工事現場や事業所の近隣住民、できあがった構造物を利用する人々など、さまざまな人々、法人、機関と関わりをもち、支えられています。これらステークホルダーの満足度向上を図るため、グループをあげて取り組んでいます。



2015年度の主な活動実績と2016年度の主な活動目標

CSR活動のテーマ	2015年度			2016年度
	主な活動目標	主な活動実績	評価	主な活動目標
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 犯罪および重大事件 “ゼロ” 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 犯罪および重大事故：複数の地盤改良工事で重大な施工不良と虚偽の報告が発覚。また、労災の給付請求で虚偽の申請1件、港則法違反2件発生 「独占禁止法の遵守」：集合研修およびe-learningによる研修を実施 「知的財産権の遵守」：e-learningによる研修を実施 	×	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法令や社会倫理等に対する違反行為の根絶
内部統制	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財務報告に係る内部統制上の開示すべき重要な不備 “ゼロ” ■ 東亜グループの内部統制の有効性維持・向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内部統制の一部に不備。工事において不正（不良施工・虚偽報告）が判明 東亜グループ全事業所の内部監査実施 ■ 内部統制の強化および業務改善を指導。内部統制に関するe-learningによる研修を実施 	△	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財務報告に係る内部統制上の開示すべき重要な不備 “ゼロ” ■ 東亜グループの内部統制の有効性維持・向上
情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重大情報漏えい “ゼロ” ■ PCの盗難・紛失の台数 “ゼロ” ■ 主要システム・メール・本支店ファイルサーバの業務時間内での障害停止時間各々30分以内 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重大情報漏えい：0件 利用環境のセキュリティ強化（導入ツールの利用拡大、PC管理システムの導入） 情報セキュリティに関するe-learningによる研修を実施 情報セキュリティの実施状況の確認と指導 ■ PCの盗難：0件 ■ 停止時間：一部のシステム120分、メール0分、本支店ファイルサーバ120分停止 	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重大情報漏えい “ゼロ” ■ PCの盗難・紛失の台数 “ゼロ” ■ 主要システム・メール・本支店ファイルサーバの業務時間内での障害停止時間 各々30分以内
品質	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工事成績評定（官庁土木）：80点以上（平均） 国土交通省各地方整備局で表彰：1件以上 ■ 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）B以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複数の地盤改良工事で重大な施工不良と虚偽の報告が発覚 ■ 工事成績評定（官庁土木）：80.6点（平均） 表彰：6件 ■ 顧客満足度評価（民間建築）：すべてで4段階評価のB以上 	×	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工事における品質を確保するため、不正行為等を未然に防止 ■ 工事成績評定（官庁土木）：80点以上（平均） ■ 国土交通省各地方整備局で表彰：1件以上 ■ 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）B以上
ステークホルダーとの関わり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業情報の開示に努める ■ 会社のPRに努める 	<ul style="list-style-type: none"> ■ IR決算説明会（本決算・第2四半期）および現場見学会を開催 社外ホームページの適時開示内容を充実 ■ CSR報告書2015の発行 ニュースリリース 技術開発：8件、海外工事受注：1件 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業情報の開示に努める ■ 会社のPRに努める
労働安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公衆災害 “ゼロ” ■ 重大災害 “ゼロ” ■ 業務上疾病 “ゼロ” ■ 全社災害度数率 0.70以下 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公衆災害：8件 ■ 重大災害：0件 ■ 業務上疾病：0件 ■ 災害度数率：0.32 ■ 労災の給付請求で虚偽の申請1件 	△	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公衆災害 “ゼロ” ■ 重大災害 “ゼロ” ■ 業務上疾病 “ゼロ” ■ 全社災害度数率 0.70以下
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新卒者を55名程度採用 ■ 研修の充実 ■ 産学連携による人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新卒者採用：53名 ■ 教育方針に基づく各種研修の実施 ■ インターンシップ11名受入 	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新卒者を55名程度採用 ■ コンプライアンス教育研修の実施 ■ 産学連携による人材育成
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ■ BCMシステムの有効性確認 ■ 共生社会活動の推進 エコキャップ活動：収集目標50万個 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 寮・社宅の通信訓練を実施 安否確認システム訓練を実施 ■ 共生社会活動の推進 エコキャップ活動：収集結果44万個 	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ BCMシステムの有効性確認 ■ 共生社会活動の推進 エコキャップ活動：収集目標50万個
環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 後述ページ (P.35) 参照 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 後述ページ (P.35) 参照 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 後述ページ (P.35) 参照

凡例 ◎・・・達成 ○・・・概ね達成 △・・・一部未達 ×・・・未達